

患者の皆様へ

2022 年 4 月 4 日

肝胆膵外科

現在、肝胆膵外科では、「脾温存尾側膵切除術後長期経過症例における胃静脈瘤発生リスク因子の検討」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では 2011 年～2018 年に脾温存尾側膵切除術を受けられた患者様の診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「脾温存尾側膵切除術後長期経過症例における胃静脈瘤発生リスク因子の検討 -国内多施設共同研究-」

2. 研究の意義・目的

脾温存尾側膵切除術の長期成績におよぼす周術期因子、特に胃静脈瘤発生に影響を及ぼす因子を解明することで、より質の高い安全な膵切除と対応策を確立することを目的としております。

3. 研究の方法

2011 年 1 月 1 日から 2018 年 12 月 31 日の間において、当科にて脾温存尾側膵切除術を受けられた患者様を対象といたします。診療録に記録されている病歴や既往歴、術前・術後の血液検査値ならびに画像所見、手術方法と術後合併症を調査し、術後合併症に影響した因子を解析いたします。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院臓器制御外科研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。

5. 外部への試料・情報の提供

匿名化されたデータは研究代表機関の滋賀医科大学外科学講座へ送られ、解析されます。

6. 研究組織

本研究は、滋賀医科大学を中心に、日本膵切研究会参加施設が協力して行う多施設共同研究です。

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。ので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院肝胆膵外科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院肝胆膵外科

医師 小西 孝宜

043(222)7171 内線 6731

研究代表機関 : 滋賀医科大学外科学講座

研究代表者 : 谷 眞至

文部科学省・厚生労働省・経済産業省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

